

# さやまの昔ばなし

25

このコーナーでは、昔から市内で語り継がれている言い伝えなどを、池原さん流の描画で紹介します。



## カマイタチの話

入間川の鎌倉街道が通る道は「ごころ坂」といわれる。途中に「子ノ神」や「まじろ」稲荷さまがある。この坂の名がついた。昔は、井筒か「ごころ坂」を通るときは、けつして「ごころ」はいけないといわれています。これは「ごころま」とカマイタチに切られた「へんな目にあうからです」。

また、この坂みちは「水富の在の人たちが入間川の女店街に「くる道」もあったようです。

題字・絵・文／池原昭治氏

池原さんのプロフィールやほかの作品はこちら▼



## 編集後記

8月6・7日に狭山市入間川七夕まつりが開催されました。まつりの当日は、狭山市駅西口市民広場で短冊記入コーナーを運営していたので、そこでまつり関係者や来場者の皆さんと多くのコミュニケーションを取ることができました。

印象的だったのは、会場を訪れた皆さんの表情。飾りを見上げたり、まつりの雰囲気を楽しんだりしながら、どこかそれを懐かしむ「郷愁」のような感情を抱きつつ、心待ちにしていたまつりを楽しんで笑顔を浮かべていた方が多かったように思います。これもまつりに関わる全ての人たちが、長い時間をかけて愛着を醸成してきた証なのだと感じました。コロナで2年の休止を余儀なくされながらも、多くの人に愛され復活した七夕まつり。また来年の夏、多くの笑顔に会えるのを楽しみにしています。

広報さやまへのご意見・ご感想は  
はがき・メール・FAXで広報課へ



〒350-1380  
狭山市入間川1丁目23番5号



koho@city.sayama.saitama.jp



TEL 04-2953-1111  
FAX 04-2953-1117



公式ホームページ



公式 Facebook



公式 Twitter



狭山市LINE  
公式アカウント  
ID:@citysayama

